



障がい者が積極的・継続的にスポーツに参加できる社会の実現に向けて、2名の地元パラアスリートにお話を伺いました。

Para Athlete

— 豊橋におけるパラスポーツの未来のために —



この印刷物はスポーツ振興くじ助成金を受けて作成しています。



PROFILE

出身:豊橋市 年齢:22歳
所属:(有)佐々木製材所

高校一年生から桜丘高等学校のテニス部に入り、次第に本格的に取組むように。現在は、JWTA強化指定選手や愛知県の2026年アジア競技大会等選手強化事業の強化指定選手としても内定。日本ランキング1位、世界ランキング27位(2022年10月現在)。

車いすテニス 佐々木 千依さん

WHEELCHAIR TENNIS SASAKI CHIYO



PROFILE

出身:豊橋市 年齢:32歳
所属:琉球アスティーダ

先天性両橈骨欠損症により、肘から先が短いために手を伸ばすことができない。しかし、持ち前の鍛え上げられた足腰を生かした豊富な運動量でリーチの長い選手との差をカバー。東京パラリンピックでは日本代表として男子シングルス9位、男子団体9位の好成績を納める。

パラ卓球 八木 克勝さん

PARA TABLE TENNIS YAGI KATSUYOSHI

相互に理解を深め、地域で支えるパラスポーツに

— 車いすテニスとの出会いを教えてください。

幼稚園時代に二分脊椎症の会という同じ病気の人達が集まる会で、車いすテニスを体験したのが初めての出会いです。幼い頃に手術を受けていたので、体育の授業はいつも見学でしたが、桜丘高等学校に入学してテニス部に入り、初めてスポーツの楽しさを知りました。最初はラケットに球を当てることすらできませんでした。徐々に打ち返すことができ、少しずつ自身が成長していく感覚を初めて感じられ、嬉しくてすぐにのめり込みました。

— 車いすテニスの見所はどこですか。

車いすを操る「チェアワーク」です。健常者のテニスとは2バウンドまで認められる以外、ルールはほとんど同じですが、最も異なる点がラケットと車いすという2つの道具を同時に使用すること。特にチェアワークは、操作が難しい上に次のプレーを予測して動かなければ間に合いません。非常に難しい反面、できた時の喜びは格別なので、観覧の際はぜひ注目して欲しいポイントです。

— 豊橋市における、「スポーツのまち」づくりとパラスポーツの振興に必要なことは何だとお考えですか。

「きっかけづくり」と「地域のサポート」だと思います。個人の上達やスポーツの発展には、地域の理解とサポートは不可欠です。幸運にも、私は地元企業の理解とサポートを得てコートを貸していただいています。他の地域では練習環境に苦労している選手が少なくないと聞きます。まずは、車いすテニス体験等のイベントを通して、私と同じようにテニスを始める障がい者や興味を持つ健常者が現れ、しかもパラスポーツへの理解を深める機会が増えると嬉しいです。実際に、ある健常者との交流試合のイベントで私がお互いの理解を深め、尊重し合えるようになったので、この輪がさらに広げられたらと願っています。

— 将来のビジョンを教えてください。

2028年ロサンゼルスパラリンピック出場、2026年アジアパラ競技大会出場を目標に掲げ、日々練習に励んでいます。現在、日本ランキング1位ではありますが、国内にはパラリンピック3大会出場した選手を含めて5名の強豪選手が在籍しており、少しでも差を埋めることを今年の目標に邁進中です。また、海外選手対策も課題の一つなので、海外遠征の中で少しずつ学びながら向上させて行きたいと思っています。最終的に、一番輝いているメダルを持ち帰るのが夢ですね。



— 読者へメッセージをお願いします。

いつも応援してくれる地域の方々、並びに企業の皆様、この場を借りて感謝申し上げます。皆様のおかげで練習ができていますので、実力を上げて期待に応えられるように頑張ります。今後も応援よろしくお願いします。

No Border! みんなが参加でき、楽しめるスポーツに

— 八木選手が考えるパラ卓球の魅力を教えてください。

卓球は「人生の縮図」だと考えています。各メーカーから多種多様なラバーやラケットが販売されており、選手は無数にある組合せの中から最適なものを選ばなければなりません。組合せはブレススタイルや性格により決まりますから、同じ組合せはほとんど無く、選手の個性が色濃く表されています。また、パラ卓球においても、障がいに応じてできることがはっきりしていますから、なおさら顕著に選手の性格が表れてきます。

— 東京パラリンピックを終えた感想をお聞かせください。

無観客開催であったことは非常に残念でした。オリンピックとパラリンピックを観ていただくことで、健常者のスポーツも障がい者のスポーツも同じ「スポーツ」であることを広く知っていただき、未来の日本のスポーツをどのように構築するかを考える転機になると期待していたためであり、それを目標にプレーしてきたからです。また、世界では両大会は同等に扱われますが、日本ではパラリンピックの試合がほとんど放映されなかったことも心残りでした。個人としては、東京に向けて計画した以上の好成績を上げ、出場が叶い嬉しく思っています。成績に関しては、納得のできる成績だったかと。大会では攻撃力に欠ける面があったので、大会後から攻撃しやすいラバーに変更して調整しており、11月の世界選手権で成果が出れば良いと今から楽しみです。

— 豊橋市における、「スポーツのまち」づくりとパラスポーツの振興に必要なことは何だとお考えですか。

「きっかけづくり」が必要ではないでしょうか。全国を遠征する中で、豊橋市が管理するスポーツ施設の充実ぶりに驚く一方で、その割に障がい者や高齢者、社会人、学生などのアスリート同士の交流する機会が少ないと感じています。実は、来年1月に地元の中学生を招き、トップ選手の講習会や私とのエキシビジョン、男女・年齢・障がいを問わない交流試合など、卓球イベントを企画中です。これは地域でイベントを開催することで、新たなアスリートの発掘や人との繋がりなどを創出できるとの考えのもと取組んでいます。また、ここでは健常者と障がい者が同じ「土俵」に立つことが重要であり、ベクトルは違えど同じスポーツであることを理解してもらいたいです。イベントをきっかけに楽しさを知り、「楽しい」が繋がっていつの間にか卓球が強くなっているのが理想ですね。

— パリに向けての抱負をお願いします。

今までは様々な面で自分の力だけで乗り越えてきましたが、今年からプロチームに入り、卓球に集中できるサポートと健常者のトップ選手と練習できる環境に恵まれています。サポートしてくれる人々の想いを胸に、パリパラリンピックへ挑みたいです。さらにメダルが獲得できると最高ですね。



プレー
プレー

みんなで
佐々木選手・八木選手を
応援しよう!

佐々木選手・八木選手が今後活躍するためには、地元の応援が大切! 選手が発信する最新情報をチェックしつつ、応援メッセージを送ろう! 右記二次元コードから佐々木選手・八木選手のSNSへアクセスしてみてください。

佐々木 千依さん

Instagram
「chiyo.1027」



八木 克勝さん

Twitter
「@YagiKatyoshi」

